

公開シンポジウム

主催：日本学術会議第一部経営学委員会、日本リスクマネジメント学会

後援：関西大学 経済・政治研究所

現代リスクマネジメントの諸相

ソーシャル・リスクマネジメントとリスク・リテラシー

現代はリスクの時代で、リスクは多様化し、巨大化し、国際化し、同時に社会化してきました。社会全体に影響を及ぼすリスクに個人、企業、地域社会、行政が連携して、対応するというのが、「ソーシャル・リスクマネジメント」です。この考え方にに基づき、本シンポジウムでは「地域社会と子どもの安全」に注目して個人、企業、地域社会、行政が果たすべき役割について探求します。同時に、共有すべきリスク・リテラシーについて考察します。

時：2014年2月28日(金)13:30-16:45

於：日本学術会議講堂 港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅⑤出口

開会の辞 川本明人（日本学術会議第一部会員、広島修道大学 商学部 教授）

研究報告 13:30～15:20

司会兼問題提起 亀井克之（関西大学 社会安全学部 教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 主幹）

「メンタルヘルスと子どもの安全」尾久裕紀（立教大学 現代心理学部 特任教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 委嘱研究員）

「ケータイ・スマホと子どもの安全」岡田朋之（関西大学 総合情報学部 教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 研究員）

「生活科学から見た子どもの安全」奈良由美子（放送大学 教養学部 教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 委嘱研究員）

「情報法学から見た子どもの安全」高野一彦（関西大学 社会安全学部 教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 研究員）

休憩 15:20～15:30

ディスカッション 15:30～16:45

総括 上田和勇（専修大学 商学部教授 日本リスクマネジメント学会 理事長）

閉会の辞 白田佳子（日本学術会議第一部会員、筑波大学 ビジネスサイエンス系教授）

参加無料(事前申し込み不要) お問い合わせ：e-mail: kamei@kansai-u.ac.jp FAX 072 684 4188

5691098 高槻市白梅町 7-1 関西大学社会安全学部 亀井研究室内 日本リスクマネジメント学会

* 本シンポジウムは関西大学 経済政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班」による4年間(2010年4月～2014年3月)におよぶ研究活動の総括です。

**本シンポジウムは日本リスクマネジメント学会・関東部会を兼ねます。